



19 湯土第8号

平成19年5月15日

国土交通省道路局長 様

湯河原町長 冨田 幸 宏



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日頃より道路行政にご尽力、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、道路財源見直しの中、本町においても道路整備のニーズは多く、今後の道路政策や道路整備・管理について、別紙のとおり回答させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

事務担当

湯河原町環境都市部土木課

TEL 0465-63-2111 内線 511

湯河原町

道路整備中期計画に関する意見

- ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

【長期的観点から】

本町は神奈川県西南端に位置し、山・川・海という豊かな自然環境とともに温泉を有する観光資源豊富な町です。また、南に伊豆の観光地を控え首都圏より、観光客の交通の要衝であります。

しかし西湘バイパスの石橋インターチェンジから伊豆方面に向かう真鶴道路の2.9 Kmの国道135号は本町や伊豆方面へと連絡する唯一の幹線道路であることから、恒常的に渋滞を引き起こし町民の日常生活をはじめ、経済活動等に重大な支障を来している状況です。

また、県西部地震が危惧されている中で陸の孤島になることも予測されており、東名高速道路沼津ICより三島・熱海を経て湘南方面を結ぶ新たな広域幹線道路としての伊豆湘南道路整備の推進を図っております。

この様な状況を鑑み長期的には渋滞解消の広域道路整備が遅れていることから、この解消に繋がる広域幹線道路の整備が必要不可欠であります。

以上のことから本町周辺地域においては以下の道路整備が急務となっております。

- ① 真鶴道路の渋滞対策
- ② 西湘バイパスの延伸
- ③ 伊豆湘南道路の建設

【短期的な観点から】

本町の海浜部を走る国道135号は夏場の海水浴場と平行な路線で大型車の交互相行が出来ない箇所や歩道が設置されていない箇所があることにより、交通渋滞と歩行者の安全確保が図られておりません。

以上のことから、交通渋滞の解消と歩行者の安全確保のため、下記の道路箇所における短期対策（整備改良）が最優先に必要です。

- ① 国道135号道路改良
吉浜橋の改良（吉浜郵便局交差点改良）
湯河原海岸 海側歩道設置

- ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

小田原真鶴間の国道135号の道路渋滞情報が不足していることから、地域住民や観光客に重大な支障をきたしております。

現在の道路ストックを有効活用することが重要であり、その上でもソフト対策（情報案内）の充実が必要です。

国道135号（小田原真鶴間）の道路渋滞情報案内の充実

- ・その他、道路施策や道路整備・管理全般に関するご意見

町道の管理において路面舗装の老朽化は町財政を圧迫するとともに安全確保の面からも補修が必要となっております。

町道の路面補修費にも国庫補助が使えるような制度を要望します。